

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年3月17日
札幌市立幌東小学校

1 今年度の重点目標

「きらめき」と「ときめき」で笑顔あふれる子どもの育成 ～自分らしさを発揮して「つながる」学校

2 本年度の経営方針

- 1 温かく確かな目で子どもを捉え、個に応じた教育活動の展開に努める。
- 2 学習指導要領に基づく特色ある教育課程の編成・実施・評価・改善に努める。
- 3 保護者や地域に関わられた学校づくりに努める。
- 4 安全・安心でさわやかな教育環境づくりに努める。
- 5 全教職員が報告・連絡・相談・確認を大切に、相互信頼と協働によって潤いと活力のある学校づくりに努める。

3 自己評価に対する学校関係者評価 (A…十分、B…ほぼ十分、C…不十分)

分野	重点項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価		
			達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ	
目指す子ども像	人間性に富み創造性豊かで主体性の高い人格の育成	温かく確かな目で子どもを捉え、個に応じた教育活動の展開に努めている。	A	今年度は、専科指導の先生や相談支援パートナー、SCと連携し、昨年度より個に対応した教育活動ができた。今後も、更なる工夫を探り、より充実させていきたい。	A	A	
知・徳・体の調和のとれた育ち	学ぶ力	日常の授業を通して、自分の考えをもち、進んで課題を解決しようとする子どもを育てている。	B	今年度は、「話し合う」「聴き合う」ことに重点を置いて授業づくりを行ってきたが、アンケート結果では、まだ進んで発信することが苦手な子どもが多い。今後も、うまくいった例などを参考にしながら、進んで発信できる活動を工夫していきたい。	A	A	
	豊かな心	日常の学習や学級での活動を通して、多様性を認め、友達に対して思いやりのある子どもを育てている。	B	今年度も「六輪リンク」や委員会活動により、よい関係性を築くことができた。しかし、集団の関わりとして「互いを認め合う」「互いに助け合う」という面が不足していると感じられる面がある。今後は、子ども同士の関わり合いについて考え、研修なども充実させていきたい。	A	A	
	健やかな体	六輪スポーツ祭や体育の授業、休み時間の遊び、毎朝の健康チェックや日々の給食指導、様々な保健指導などを通して、健康を考えて自分の生活を見直して行動できる子どもを育てている。	A	体育館や外で体を動かして遊ぶ子どもが多く見られ、体力向上につながっている。「食指導」や「みんなく」の取組などにより、自分の健康について意識する子どもが多い。しかし、休み時間の怪我は多く見られるため、自分に合った運動の仕方や安全の意識を高める指導などを工夫して行っていきたい。	A	B	
学校関係者評価委員からの御意見		<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会をもっと拡充して、専門の方から体を「動かすよさ」について子どもたちに発信していただくことができればよいのではないかと。 ・出前授業などで「体を動かすよさ」を学ぶことができる活動などを実施することもよいのではないかと。 ・学校の様子を見ていると、頭部の怪我が多いように感じる。転んだときに手が出ないなど、心配な様子もある。運動したがるのにどう気持ちを向かわせるかを考えなければならぬ。 ・靴紐がほどけたら結ぶ、ランドセルにぶら下げている紐が長すぎたら調節するなどの意識がなく、安全に対する意識が低い子どもが多いので、繰り返し指導していくことが大切である。 					

札幌らしい特色ある学校教育の推進	「雪・環境・読書」の更なる推進	「雪・環境・読書」を推進した学校教育を行っている。	A	体育のスキー学習、生活科の雪遊び、総合的な学習の時間のオリ・パラに関する学習など、雪と関連した活動を取り入れた。総合的な学習の時間に、環境の領域に関わる課題を取り入れ、環境への意識を高めるように努めた。「朝読書」を日課に位置付け、図書館利用者数も増えている。	A	B
子どもの発達への支援	一人一人の教育的ニーズに応じ、自立をはぐくむ教育の実施	深い児童理解に基づいた個別の教育支援計画および指導計画の作成をしている。	A	個別のサポートプランを作成し、特別な支援が必要な子どもには、担任と担任外が連携して支援を行った。交流の場や研修会も実施し、学校全体で児童理解を図った。SCやSSW、関係機関と連携し、個々の悩みや困りに応じた支援を行った。	A	A
信頼される学校の創造	地域、家庭に信頼される学校からの発信の工夫	学校だよりや学年だより、ホームページ、個人懇談などを通して発信することで、保護者や地域の方と協働して子どもを育てている。	A	主にホームページ、懇談を通じて、学校の様子の発信に努めた。今年度は、前後期の終わりに個人懇談を実施し、具体的に評価に関する発信をすることができた。また、すぐーるを通じて、学校便りなどのお便りを配信したり、緊急性の高い情報について発信したりすることができた。	A	A
学校関係者評価委員からの御意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「雪」は札幌に住んでいる上で、とても大きな武器なので、大切にしてほしい。学校として、「雪」に関する活動を増やすことを検討してほしい。 ・図書館の本の貸し借りのルールやマナーの確認をしてほしい。個人差が大きいので、指導の徹底が必要である。本を破損してしまったときも、すぐ分かれば修復できるので、すぐに知らせるように指導してほしい。 ・不登校の子に対してどう関わっていくのか難しい。相談支援パートナーも連携して対応に取り組んでいきたい。 ・すぐーるで様々なことを発信できているのはとてもよかった。 					

学校関係者評価委員からいただいた励ましの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の勤務時間の問題や教員不足のニュースを聞き、先生方が大変だと感じる。体に気を付けていただきたい。
------------------------	--